

歴史を振り返り、新たな未来への第一歩 町制施行 70 周年記念式典

大崎町は、昭和 11 年 1 月に町制が施行され、今年で 70 周年を迎えました。



11月2日、町制施行70周年記念式典が大崎町中央公民館で開催され、自治公民館長をはじめ、町内外から約320人が出席しました。

式典のオープニングは、南光保育園の園児による可愛くも力強い和太鼓演奏で幕を開けました。次に本町職員が制作した大崎町の誕生から現在に至るまでの歴史を綴った記念ビデオが放映され、70年のあゆみを振り返りました。

このあと、東靖弘町長が、「大崎町が今日まで発展してきたのは、先輩各位や町民の皆様のおかげに對する強い思いに他ならない。今後は本町のまちづくりの基本理念である『人・もの・自然・調和が奏でる躍動のまち』を指し、町民の皆様方と心を一つにしてさらなる大きな第一歩を踏み出すべく努力してまいりたい。町民の皆様には今後ともご指導、ご協力を賜りたい。」と式辞を述べ、また、小野光夫町議会議長が、「町内

外の各界から多数ご臨席のもと、盛大に式典が挙行でき喜びに堪えない。町勢発展にさらなる努力を傾注したい。」とあいさつしました。

式典では、地方自治部門など本町発展に尽力された58人に東町長から賞状と記念品が贈られ、会場からも労をねぎらう温かい拍手が送られました。

表彰者を代表して、教育文化部門で受賞の久木田瑞夫さん（元教育長）が、「このような晴れがましい席で、表彰していたら身に余る光栄です。心から感謝いたします。これからも、皆様の期待に応えられるよう頑張りたい。」と謝辞を述べられました。

10年に1度の式典とあって、会場はささやかながらも厳粛な中に進行し静かに幕を閉じました。

受賞者の皆様、本当におめでとうございます。表彰者は次のとおりです。